

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された条例制定や補正予算などの案件等について、3つの常任委員会で審査をしました。議案については、すべて原案どおり可決し、請願については、1件を採択、2件を不採択とし、陳情については、すべて不採択としました。

審査の概要と主な質疑(本定例会最終日の委員長報告から抜粋)については、次のとおりです。

■ 総務文教常任委員会

糸魚川市社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定等3件、補正予算1件、その他2件、請願2件を審査しました。

また、「新駅整備可能性調査の報告について」及び「旧青海自然史博物館後活用基本構想について」の所管事項調査を行っています。

スクールソーシャルワーカー※の配置 (一般会計補正予算)

質問 どのような経歴を持った方に委託し、活動は、どのような頻度でどのように行うのか。また、市としてはどのような効果を期待しているのか。

答弁 長く新潟大学・新潟医療福祉大学で教鞭(きょうべん)を執っており、いじめ・不登校の多くのケースに関わり、特別支援教育にも非常に造詣の深い先生である。月に2回を11か月、1回に2校程度回り、教師と保護者を対象に指導する。事例を使って具体的に指導・研修を行うことで教職員の人権意識を高め、生徒指導を行っていく。

■ 建設産業常任委員会

財産の取得について(シーサイドパレーススキー場圧雪車)等2件、補正予算2件、陳情2件を審査しました。

登山バス運行事業補助金 (一般会計補正予算)

質問 糸魚川バスから蓮華登山バスの運行期間を繁忙期のみに短縮したいとの申出があったことに対し、繁忙期以外の運行を継続するための補助金ということで予算計上しているが、糸魚川バスの営業努力も求めるべきではないか。

答弁 市としても、タイミングを見ながらしっかりと話をしていきたい。



新駅整備可能性調査の報告について (所管事項調査)

質問 新駅建設に関わる財源は明確になっているか。また、地域の盛り上がり、調査協力体制、新駅設置後の利活用への協力姿勢は。

答弁 国・県の補助金については、明確になっていないので、今後、県とえちごトキめき鉄道との3者で協議し、最大株主である県の理解を求めている。また、押上地域及び須沢地域ともに熱意・要望があり、今後、地元説明の段階で利活用に関して理解を求めながら詰めていきたい。



海の魅力アップ推進事業 (一般会計補正予算)

質問 青海シーサイドパークにおいて、ドームの人工芝張りや段差の解消、オートキャンプ場の整備をするということであるが、ドームを冬期間の野球等の練習場として利用することはできるのか。

答弁 用途はまだ具体的に決まっていない。大勢の方が使えるようなものにしていきたい。



※ スクールソーシャルワーカー…教育機関を活動の場とする福祉事業従事者。主に児童や生徒の立場から問題解決できる環境づくりを推進する。